

2019年1月29日

各 位

トヨタウッドユーホーム株式会社
代表取締役社長 中津正修

2×8（ツーバイエイト）工法の採用開始について



トヨタウッドユーホーム株式会社（本社：宇都宮市、代表取締役社長：中津正修）は、この度、当社の一戸建て住宅に2×8（ツーバイエイト）工法の採用を開始します。従来の2×4製材の約2倍幅である184mmの厚壁を採用することで、高断熱性能、省エネルギー性能を発揮し、高い快適性をかなえ、空間を有効的に活用できる商品を提供いたします。

記

1. 経緯： 1986（昭和61）年より、当社では2×4工法による一戸建て住宅を手掛け始めてから、今まで生産してきた戸数は延べ13,800棟超に上り、栃木県内での同工法一戸建てのうち、約4割を供給しています（2017年度、国土交通省統計から算出）。

近年、猛暑などの異常気象、また急激な気候変動も度々観測される中、朝晩の冷え込みが厳しく寒暖差の大きい栃木県は、冬季死亡リスクが25%増加、全国1位というデータ（別図）もあり、このような問題に取り組むことは、当社の使命であると考えています。

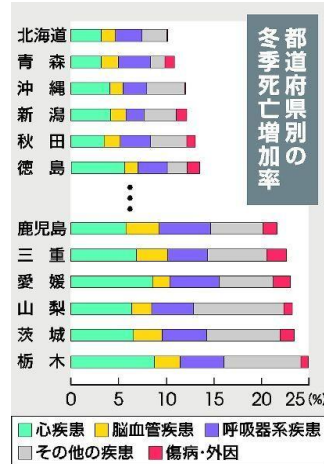
また政府によりZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の普及促進が図られており、当社の本事業年度の目標値30%に対し、直近の数値は36%で進

展しており、より積極的な取組みをしていく所存です。

上記の現状を踏まえ、当社では2×8材（38mm×184mm）を外周壁材として採用を開始いたします。

従来の2×4製材の2倍幅の厚壁の採用により、これまでにない快適さ・経済性を実現するだけでなく、10年・20年先を見据えた「次世代基準の家づくり」に辿り着きました。

(別図) 都道府県別の冬季死亡増加率
4～11月に対して、12～3月の増加率



慶応大学工学部伊香賀教授まとめ
(出所：下野新聞 2018年11月29日号1面)

2. 商品概要：

(1) 商品名 : Forwarding Stage^{ツーバイエイト}-2×8

(2) キャッチコピー： 五月の家

性能へのこだわりを積み上げ、日本の気候風土に適った家づくりを携え、トヨタウッドユーホームが完成させたのは、年間を通して毎日が5月のように快適な住空間。丸まった身体を緩やかにほぐし、伸びきった心を正して、あなたとともに歩む家です。

(3) 価格 : 約56～57万円/坪 (従来2×4商品の約10%増)

(4) メインターゲット：住宅で過ごす空間を快適にし、ワンランク上の生活を求めている方

(5) 年間販売棟数：50棟/年

(6) 性能等の特徴：

■断熱性能：

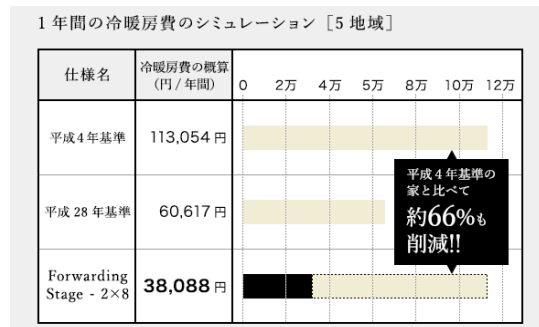
2×8採用時の外皮平均熱貫流率（UA値）は0.34W/m²kとなります。この値は、省エネ地域区分（8区分）のうち基準が最も厳しい北海道地域のZEH基準（UA値0.4）を大幅にクリアしています。

壁、天井、床の各部位の熱損失係数は高い性能の断熱材を採用していますが、特に開閉部では樹脂サッシ真空トリプルガラスを採用することで、ガラスとガラスの間の0.2mmの真空層が強力な断熱効果を発揮します。



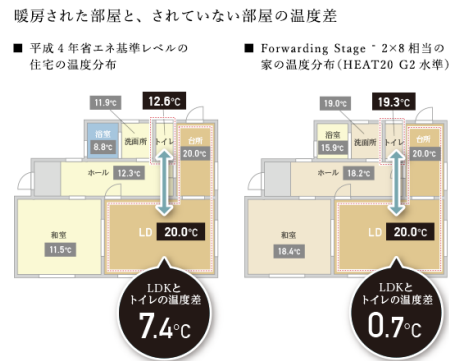
【参考：冷暖房シミュレーション】

高断熱・高气密の住まいは優れた「省エネ性」を発揮します。年間の冷暖房費を例に挙げると、平成4年基準の家と比較し、約66%抑制され、大幅な冷暖房費の削減となります。



■体感性能：

断熱性を高めた住宅では、暖房していない所でも比較的溫度差が少なくなり、健康で快適な生活が可能となります。



※冬の夜21時（居室を20℃で暖房中）における各部屋の温度比較 ※5地域
出典：HEAT20 設計ガイドブック+PLUS 2020年を見据えた
住宅の高断熱化技術開発委員会（HEAT20）

■快適空間の確保

上記の性能が高まり、建物全体が一定温度となることから、天井高を高めたり、吹き抜けを設けることがこれまで以上に抵抗なく実現できます。建物内の空間隅々まで有効に活用することが可能となります。

3. イベント開催：

- (1) 名称：2×8 発売記念モニター住宅募集
- (2) 条件：当社営業エリア限定抽選 5 棟
- (3) 期間：2019年1月26日（土）～同年3月31日（日）

4. 問合せ先：トヨタウッドユーホーム株式会社 経営企画部

本社：栃木県宇都宮市一ノ沢町 256-7

TEL：028-627-3531 / FAX：028-624-5144

E-mail：mpo@toyota-woodyou.co.jp

担 当：堀江則行・安西剛之

以 上